

入道雲が少しずつ顔をのぞかせ、初夏のまばゆい光が降り注ぐ季節となりました。去る6月6日、子どもたちが心待ちにしていた運動会が、賑やかに、そして温かい雰囲気の中で無事に開催されました。当日は温かい応援と拍手をいただき、本当にありがとうございました。運動会という大きな節目を経験し、子どもたちは確かな「力」を身につけました。今回は、その経験が今、日々の保育の中でどのような「その後の姿」として輝いているのか、横版の3段組みにて学年ごとにお伝えいたします。

【3歳児】

先生と気持ちを合わせて身体を動かす楽しさをたっぷりと味わいました。当日は、可愛い動物に変身した子どもたちが『イエイエジュース』の音楽に合わせて、たくさんの果物を混ぜ合わせ、美味しいジュースを完成させることができました。

🌱身についた力：先生と表現する楽しさを味わう・友達への親近感

✨**その後の姿**：この経験が土台となり、最近では子ども同士で名前を呼び合って「おはよう」と挨拶を交わしたり、「一緒にお茶飲もう、乾杯しよう」と楽しそうに誘い合ったりする姿が見られます。クラスの中で友達をしっかりと意識し始め、関わりを自ら広げようとする嬉しい変化が始まっています。

【4歳児】

虫に変身して巧技台に挑戦し、自分で考えた方法で渡ったり飛び降りたりしました。『むしむしフェスティバル』のダンスでは、子どもたちから「先生はしないで みんなだけでできるよ 見てて」という頼もしい声上がり、自分たちの力だけで見事にやり遂げました。

🌱身についた力：自分で考えて行動する主体性・達成感と自信

✨**その後の姿**：「自分たちだけでできた」という大きな経験が確かな自信へと繋がり、運動会が明けた現在の遊びの中では、「こういうのはどう？」「こうしたらいいんじゃない？」と、友達に積極的に声を掛け、互いのアイデアを結びつけながら主体的に遊びを展開する姿に繋がっています。

【5歳児】

みのり組は、自分たちで『みんなでたのしいうんどうかい』という名前を決め、3つの虫チームに分かれてリレーに挑みました。その過程で「虫がお腹をすかせたら？」という疑問から、「走る途中でご飯を取って虫に食べさせてから走る」というオリジナルのルールを自分たちで考案し、創り上げました。

🌱身についた力：課題を解決する話し合い・ルールを創り出す知恵

✨**その後の姿**：この経験は今も園庭で生きています。現在、子どもたちは園庭にエビフライの形を模した線を引き、その内と外で遊ぶ独自の『**エビフライ鬼ごっこ**』を編み出しました。自分たちで「こうしよう」とルールを工夫し、対話を重ねながら遊びをダイナミックに進めています。

行事の余韻を、これからの日々の学びに

6月6日の運動会は、単なる一日の発表の場ではなく、子どもたちが「経験を経て力をつけ、その後の日常を豊かにしていく」ための大きな原動力となりました。3歳児の仲間意識、4歳児の自信に満ちた主体性、5歳児のルールを創り出す確かな知恵。幼稚園では、この初夏の運動会で培った一人一人の育ちの芽を大切に受け止め、これからの毎日の生活や遊びの中で、さらに大きく伸ばしていけるよう援助してまいります。